

内視鏡的乳頭切除術における経鼻的胆管・膵管ドレナージの術後出血予防効果に関する傾向スコアマッチングを用いた多施設後ろ向き観察研究

1. 研究の対象

2018年1月～2025年12月に国立がん研究センター中央病院、横浜市立大学附属病院、筑波大学附属病院、鳥取大学医学部附属病院、多根総合病院、信州大学医学部、国立国際医療センター、昭和医科大学江東豊洲病院、琉球大学病院にて内視鏡的乳頭切除術を受けられた方

2. 研究目的・方法

研究目的：病変切除後に実施される経鼻的胆管ドレナージおよび経鼻的膵管ドレナージの併用による術後出血の予防効果を明らかにすることです。

研究方法：研究対象者の診療録から治療歴などの診療情報を抽出し、解析を行います。

研究実施期間：研究許可日～2026年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況 等

4. 試料・情報の授受

試料・情報の授受は、セキュリティ対策を施した上で行います。具体的には、電子的配信等により実施します。対応表は、提供元機関の研究責任者が保管・管理します。

本研究で用いた試料・情報を国内外の機関で実施する将来の医学的研究のために、研究終了後も大切に保管させていただきます。新たな研究に用いる際には、国内外の規制に則り、あらためて研究計画書を作成して研究倫理審査委員会の承認や研究機関の長の許可を受ける等、適正な手続を踏んだ上で行います。

なお、新たな研究の概要・研究機関については、新たな研究に関わる機関（試料・情報の授受を行う機関すべて）公式ホームページ等にて情報公開いたします。

- ・国立国際医療センターが参加する研究に関する公開情報

<https://ccs.jihs.go.jp/120/060/20190604104935.html>

5. 研究組織・研究責任者

国立がん研究センター中央病院	：	奥坂 拓志
横浜市立大学附属病院	：	窪田 賢輔
筑波大学附属病院	：	土屋 輝一郎
鳥取大学医学部附属病院	：	斧山 巧
多根総合病院	：	竹下 宏太郎
信州大学医学部	：	中村 晃
国立国際医療センター	：	山本 夏代
昭和医科大学江東豊洲病院	：	川崎 佑輝
琉球大学病院	：	山本 和子

6. お問い合わせ等

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

試料・情報が研究に用いられることについて研究対象者の方もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するためや研究の科学的意義を検討するために、国内外の第三者の立場の者が研究対象者の方のカルテやその他の診療記録、研究データなどを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報は守られます。

機関長、研究責任者、および、研究内容の問合せ担当者：

機関長：国立健康危機管理研究機構 理事長 國土 典宏

研究責任者：国立健康危機管理研究機構 消化器内科 医長 山本 夏代

研究内容の問合せ担当者：国立健康危機管理研究機構 消化器内科 久田 裕也

電話：03-3202-7181（代表）（応対可能時間：平日 9 時～16 時）